

		学年の目標	2学期・3学期の児童の様子
基礎・基本	国語	<ul style="list-style-type: none"> 自分の考えをもち、文章に書きあわらすことができるようにします。そのために、「書く」単元では、一人一人が自分の考えを文章に書き、交流させるようにします。また、週末の宿題に日記を書かせ、出来事だけでなく自分の考えを書かせるようにします。 新出漢字の定着(まとめのテスト80点以上を8割)を目指します。そのために小テストを定期的に行い、総合平均点によって認定証を与え、意欲を高めます。 	<ul style="list-style-type: none"> 週末の日記の課題には大変意欲的に取り組み、考えを書かせることで様々な表現方法が身に付き、語彙も増えてきた。 漢字の小テストでは認定証を与えたことも意欲向上にもつながった。小テストを定期的に行うことでその都度漢字を覚えてはいるものの、中間や学期末の50問テストでは思ったより点数が伸びなかった。定着に課題が残ったのでその場限りの暗記とならないよう、繰り返しの練習を徹底し、家庭学習の習慣も定着させる。
	算数	<ul style="list-style-type: none"> 四則計算がスムーズにできるようにします。そのために、家庭学習週間や朝学習の時間に東京ベーシックドリルのプリントを使って習熟を図ります。できていない児童には、放課後補習教室や個別指導を通して指導します。 文章題から、求めることは何か、読み取ることができるようにします。そのために、いきなり式に表すのではなく、数直線や表に表すことを様々な場面で指導します。 	<ul style="list-style-type: none"> ドリルを活用し、前時の復習を行い問題をこなしていった。家庭学習週間では東京ベーシックドリルのプリントを活用して2学期までの学習の復習を行った。また放課後補習教室を行ったことにより、既習事項を思い出し、理解を深めることができた。 問題から数直線や表に表すことが苦手な児童が多かった。今後も様々な問題を解きながら定着を図る。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> 読書量を増やします。そのために、朝読書の時間や、給食を準備する時間、家庭での宿題を利用し、本に親しむようにさせます。また、自然事象についての本を読む児童を称賛し、関心を高め、知識を身に付けさせるようにします。 	<ul style="list-style-type: none"> 自ら空いた時間を見つけて積極的に読書に取り組む児童が増えた。朝読書や昼読書の時間には、落ち着いた雰囲気の中で読書に親しむことができてきた。
思考力・判断力・表現力	<ul style="list-style-type: none"> 筆者の伝えたいことと中心をとらえることができるようにします。そのために、文章を読むときは漫然と読むのではなく、登場人物の心情を表すところや、筆者の考えが表されているところなど、サイドラインを引きながら読む習慣を付けさせます。 自分が調べたことや考えを表現する力を高めるようにします。そのために、ほねっこタイム(「総合的な学習の時間」)では「はっぴょう名人」を活用し、プレゼンテーションを行うようにします。友達の作品と自分の作品とを比較・検討させることを通し、よりよい表現の仕方について考えさせます。 	<ul style="list-style-type: none"> 国語では筆者の気持ちになって物語の山場を書く活動や、自分の立場を決めて意見文を書く活動を行った。また、登場人物の気持ちを考えたり、情景描写の表現を探して何を表しているのかを考える学習を行った。 総合的な学習の時間では「はっぴょう名人」を利用し、自分が調べたことを生き生きと発表する姿が見られた。また友達の発表から良いところを見つけそれを周りに伝えることができた。発表する際には、どのようにすれば伝えたい内容がより伝わるかを、考える児童が増えてきた。 	
学習習慣・学習規律	<ul style="list-style-type: none"> 話を聞く姿勢を意識できるようにさせます。そのために、友達が発表する時には話している人の方を向いて話を聞くことを指導します。 宿題提出率95%以上を目指します。提出ができない児童には適宜注意し、休み時間や放課後に学習を行うようにします。また、自主学習を行う意識を高めるために、家庭学習週間で自主学習を励行し、普段行っている児童のノートを提示します。 	<ul style="list-style-type: none"> 話を聞くときは集中して聞くことができるようになってきたが、聞く姿勢になるまでに時間がかかり、課題が残った。切り替えを自分たちでできるよう指導していく。 宿題は自主学習を2学期から取り入れたが、自ら課題を決めて意欲的に行う児童が多く見られた。家庭学習週間では自主学習に取り組む児童も増えている。日々の宿題の提出率が80%であったので声掛けを引き続き行っていく。保護者会などで、お子さんの宿題に取り組む様子に関心をもってもらえるよう話をする。 	